

運用報告書 (全体版)

通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信/国内/不動産投信 (リート) | |
| 信託期間 | 2011年1月6日から2020年12月18日までです。 | |
| 運用方針 | わが国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。 | |
| 主要投資対象 | 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース | 円建ての外国投資信託である「ミスホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス)」 受益証券 (外国投資信託 (円クラス)) ともいいます。 および円建ての国内籍の投資信託である「MHAM短期金融資産マザーファンド」 受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ミスホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス) | 主として、日本の金融商品取引所および金融商品取引所に準ずる市場に上場 (上場予定を含みます。) している不動産投資信託証券に分散投資を行います。 |
| | MHAM短期金融資産マザーファンド | わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 外国投資信託 (円クラス) への投資を中心に、投資対象ファンドの合計比率は、高位を維持することを基本とします。 コマニシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。 為替取引は行いません。 | |
| 組入制限 | 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| | ミスホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス) | 上場投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 上場投資信託証券以外の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |
| | MHAM短期金融資産マザーファンド | 外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 第3期以降の毎期 (原則として毎月18日、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 | |

| | | |
|-------|------|--------------|
| 第102期 | <決算日 | 2019年7月18日> |
| 第103期 | <決算日 | 2019年8月19日> |
| 第104期 | <決算日 | 2019年9月18日> |
| 第105期 | <決算日 | 2019年10月18日> |
| 第106期 | <決算日 | 2019年11月18日> |
| 第107期 | <決算日 | 2019年12月18日> |

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース」は、2019年12月18日に第107期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
<http://www.am-one.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター : 0120-104-694

受付時間 : 営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型Jリート・ファンド（毎月分配型） 円コース

■最近5作成期の運用実績

| 作成期 | 決算期 | 基準価額 | | | 投資信託受益証券組入 | 債券組入比率 | 純資産額 |
|--------|--------------------|-------|------|------|------------|--------|--------|
| | | (分配落) | 税金込み | 騰落率 | | | |
| | | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 第14作成期 | 78期 (2017年7月18日) | 9,600 | 170 | △6.5 | 98.8 | 0.0 | 19,748 |
| | 79期 (2017年8月18日) | 9,837 | 170 | 4.2 | 98.9 | 0.0 | 20,327 |
| | 80期 (2017年9月19日) | 9,604 | 170 | △0.6 | 98.9 | 0.0 | 19,555 |
| | 81期 (2017年10月18日) | 9,237 | 170 | △2.1 | 98.9 | 0.0 | 18,265 |
| | 82期 (2017年11月20日) | 9,143 | 170 | 0.8 | 98.9 | 0.0 | 17,518 |
| | 83期 (2017年12月18日) | 9,128 | 170 | 1.7 | 98.9 | 0.0 | 17,124 |
| 第15作成期 | 84期 (2018年1月18日) | 9,258 | 170 | 3.3 | 97.0 | 0.0 | 17,068 |
| | 85期 (2018年2月19日) | 8,752 | 170 | △3.6 | 98.9 | 0.0 | 15,966 |
| | 86期 (2018年3月19日) | 8,768 | 170 | 2.1 | 98.9 | 0.0 | 15,436 |
| | 87期 (2018年4月18日) | 8,607 | 130 | △0.4 | 98.9 | 0.0 | 14,354 |
| | 88期 (2018年5月18日) | 8,724 | 130 | 2.9 | 98.9 | 0.0 | 13,983 |
| | 89期 (2018年6月18日) | 8,629 | 130 | 0.4 | 98.9 | 0.0 | 13,400 |
| 第16作成期 | 90期 (2018年7月18日) | 8,675 | 130 | 2.0 | 98.7 | 0.0 | 13,220 |
| | 91期 (2018年8月20日) | 8,401 | 130 | △1.7 | 99.0 | 0.0 | 12,399 |
| | 92期 (2018年9月18日) | 8,344 | 130 | 0.9 | 98.9 | 0.0 | 12,041 |
| | 93期 (2018年10月18日) | 8,284 | 130 | 0.8 | 98.9 | 0.0 | 11,634 |
| | 94期 (2018年11月19日) | 8,245 | 130 | 1.1 | 98.9 | 0.0 | 11,195 |
| | 95期 (2018年12月18日) | 8,320 | 65 | 1.7 | 99.0 | 0.0 | 11,078 |
| 第17作成期 | 96期 (2019年1月18日) | 8,221 | 65 | △0.4 | 98.9 | 0.0 | 10,634 |
| | 97期 (2019年2月18日) | 8,279 | 65 | 1.5 | 98.9 | 0.0 | 10,138 |
| | 98期 (2019年3月18日) | 8,448 | 65 | 2.8 | 98.9 | 0.0 | 10,010 |
| | 99期 (2019年4月18日) | 8,333 | 65 | △0.6 | 98.6 | 0.0 | 9,587 |
| | 100期 (2019年5月20日) | 8,476 | 65 | 2.5 | 98.9 | 0.0 | 9,641 |
| | 101期 (2019年6月18日) | 8,491 | 65 | 0.9 | 98.9 | 0.0 | 9,241 |
| 第18作成期 | 102期 (2019年7月18日) | 8,786 | 65 | 4.2 | 98.9 | 0.0 | 9,292 |
| | 103期 (2019年8月19日) | 8,944 | 65 | 2.5 | 98.8 | 0.0 | 9,118 |
| | 104期 (2019年9月18日) | 9,023 | 65 | 1.6 | 98.9 | 0.0 | 8,820 |
| | 105期 (2019年10月18日) | 9,434 | 65 | 5.3 | 98.9 | 0.0 | 8,873 |
| | 106期 (2019年11月18日) | 9,022 | 65 | △3.7 | 98.9 | 0.0 | 8,339 |
| | 107期 (2019年12月18日) | 8,853 | 65 | △1.2 | 98.8 | 0.0 | 8,044 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率 | 債 券 組 入 比 率 |
|-------|----------------------|---------|-------|----------------------------|-------------|
| | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | |
| 第102期 | (期 首) 2019年6月18日 | 円 | % | % | % |
| | 6月末 | 8,491 | - | 98.9 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年7月18日 | 8,503 | 0.1 | 97.7 | 0.0 |
| 第103期 | (期 首) 2019年7月18日 | 8,851 | 4.2 | 98.9 | 0.0 |
| | 7月末 | 8,786 | - | 98.9 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年8月19日 | 8,770 | △0.2 | 97.9 | 0.0 |
| 第104期 | (期 首) 2019年8月19日 | 9,009 | 2.5 | 98.8 | 0.0 |
| | 8月末 | 8,944 | - | 98.8 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年9月18日 | 9,011 | 0.7 | 97.9 | 0.0 |
| 第105期 | (期 首) 2019年9月18日 | 9,088 | 1.6 | 98.9 | 0.0 |
| | 9月末 | 9,023 | - | 98.9 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年10月18日 | 9,295 | 3.0 | 98.0 | 0.0 |
| 第106期 | (期 首) 2019年10月18日 | 9,499 | 5.3 | 98.9 | 0.0 |
| | 10月末 | 9,434 | - | 98.9 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年11月18日 | 9,441 | 0.1 | 98.0 | 0.0 |
| 第107期 | (期 首) 2019年11月18日 | 9,087 | △3.7 | 98.9 | 0.0 |
| | 11月末 | 9,022 | - | 98.9 | 0.0 |
| | (期 末) 2019年12月18日 | 9,361 | 3.8 | 98.0 | 0.0 |
| | | 8,918 | △1.2 | 98.8 | 0.0 |

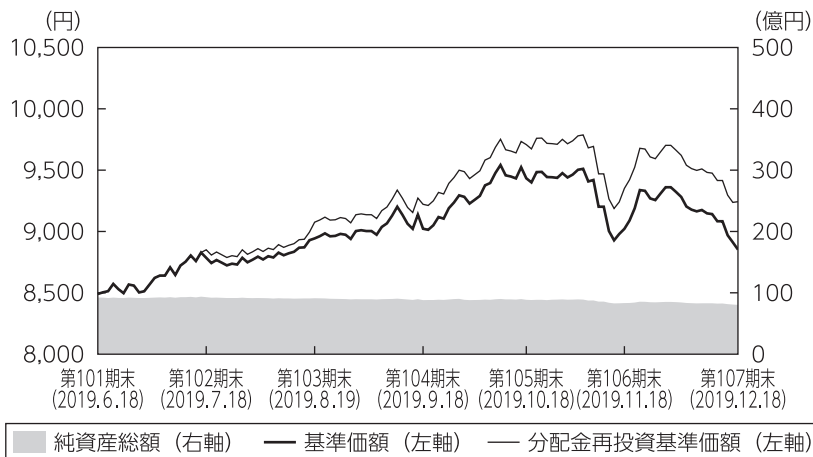
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第102期～第107期の運用経過（2019年6月19日から2019年12月18日まで）

基準価額等の推移



第102期首： 8,491円
 第107期末： 8,853円
 (既払分配金390円)
 騰落率： 8.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

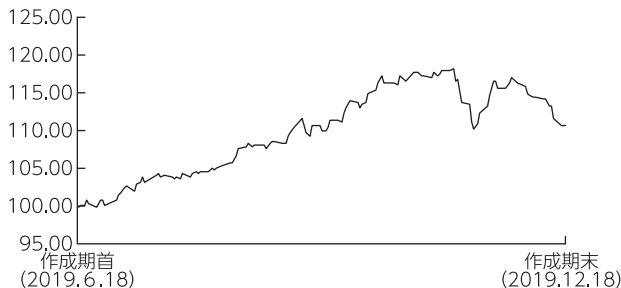
基準価額の主な変動要因

国内長期金利が低位安定的に推移する中、堅調なファンダメンタルズの継続などを背景にJリート市場が上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

● Jリート市況

<東証REIT指数（配当込み）>



(注1) 値は、前営業日のものを採用し、作成期首の値を100として指数化しています。

(注2) 東証REIT指数（配当込み）は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

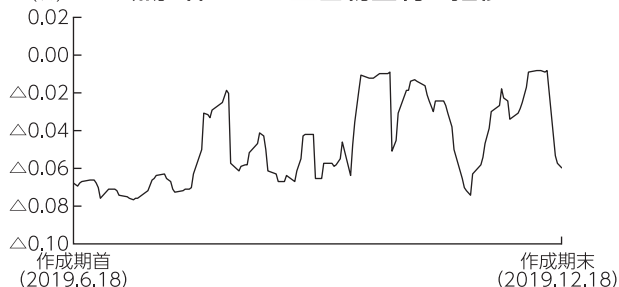
Jリート市場は、東証REIT指数（配当込み）でみると10.8%上昇しました。

作成期首から、国内長期金利が低位安定的に推移する中、堅調なファンダメンタルズの継続などが好感され、上昇基調となりました。

9月以降は、内外の長期金利が上昇基調に転じたことが嫌気され反落する場面があったものの、インカムゲインニーズ等を背景にした国内機関投資家の債券代替投資需要などもあり、作成期末にかけて底堅く推移しました。

● 短期金融資産市況

<無担保コール翌日物金利の推移>



無担保コール翌日物金利は当作成期間中マイナスの水準で推移しました。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

円建ての外国投資信託「ミズホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス)」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持し、「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券への投資も行いました。

●ミズホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス)

当作成期中の運用については、安定した分配原資の獲得に留意したポートフォリオの構築を目指して運用を行いました。具体的には相対的な割安感などから「Oneリート投資法人」などを購入しました。一方で、相対的な分配金の伸び悩み懸念などから「ジャパンリアルエステイト投資法人」などの一部売却を行いました。

(主な上昇要因)「オリックス不動産投資法人」などが上昇したこと。

(主な下落要因)「ジャパン・ホテル・リート投資法人」などが下落したこと。

【組入上位10銘柄】

2019年6月18日現在

2019年12月18日現在

| 順位 | 銘柄 | 比率 |
|----|--------------------|------|
| 1 | ジャパンリアルエステイト投資法人 | 7.7% |
| 2 | 日本ビルファンド投資法人 | 7.7% |
| 3 | オリックス不動産投資法人 | 5.5% |
| 4 | 野村不動産マスターファンド投資法人 | 4.3% |
| 5 | 日本リートファンド投資法人 | 4.2% |
| 6 | アドバンス・レジデンス投資法人 | 4.0% |
| 7 | ケネディクス・オフィス投資法人 | 3.4% |
| 8 | ジャパン・ホテル・リート投資法人 | 3.2% |
| 9 | 大和証券オフィス投資法人 | 3.2% |
| 10 | 日本アコモデーションファンド投資法人 | 2.9% |

| 順位 | 銘柄 | 比率 |
|----|--------------------|------|
| 1 | ジャパンリアルエステイト投資法人 | 7.3% |
| 2 | 日本ビルファンド投資法人 | 7.3% |
| 3 | オリックス不動産投資法人 | 5.7% |
| 4 | アドバンス・レジデンス投資法人 | 4.5% |
| 5 | 日本リートファンド投資法人 | 3.8% |
| 6 | 野村不動産マスターファンド投資法人 | 3.8% |
| 7 | 日本プロロジスリート投資法人 | 3.7% |
| 8 | アクティビア・プロパティーズ投資法人 | 3.5% |
| 9 | 森ヒルズリート投資法人 | 3.2% |
| 10 | GLP投資法人 | 3.1% |

(注1) ミズホ・ジャパン・リート・ファンドの不動産投資証券合計に対する投資割合。

(注2) 比率は前営業日ベース。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債を中心に組み入れました。この結果、当作成期間中の債券の組入比率は高位を維持しました。

上記運用を行った結果、基準価額は概ね横ばいとなりました。日本銀行の強力な金融緩和政策により、当ファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%からマイナスの水準で推移したことが要因となります。

【組入上位5銘柄】

2019年6月18日現在

2019年12月18日現在

| 順位 | 銘柄 | 償還日 | 比率 |
|----|---------------------|------------|-------|
| 1 | 21年度6回 千葉県公募公債 | 2019/9/25 | 11.0% |
| 2 | 21年度3回 千葉県公募公債 | 2019/6/25 | 9.0% |
| 3 | 21年度2回 北九州市公募公債 | 2019/12/24 | 8.7% |
| 4 | 21年度10回 愛知県公募公債 10年 | 2019/10/30 | 7.8% |
| 5 | 21年度1回 福井県公募公債 | 2019/12/25 | 7.7% |

| 順位 | 銘柄 | 償還日 | 比率 |
|----|-----------------|------------|-------|
| 1 | 22年度1回 福井県公募公債 | 2020/10/29 | 12.0% |
| 2 | 21年度2回 北九州市公募公債 | 2019/12/24 | 8.5% |
| 3 | 178回 神奈川県公募公債 | 2020/9/18 | 8.4% |
| 4 | 21年度1回 福井県公募公債 | 2019/12/25 | 7.6% |
| 5 | 42回 川崎市公募公債 5年 | 2019/12/20 | 7.2% |

(注) 比率は、「MHAM短期金融資産マザーファンド」の純資産総額に対する投資割合。

分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 第102期 | 第103期 | 第104期 | 第105期 | 第106期 | 第107期 |
|------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2019年6月19日 ～2019年7月18日 | 2019年7月19日 ～2019年8月19日 | 2019年8月20日 ～2019年9月18日 | 2019年9月19日 ～2019年10月18日 | 2019年10月19日 ～2019年11月18日 | 2019年11月19日 ～2019年12月18日 |
| 当期分配金（税引前） | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 |
| 対基準価額比率 | 0.73% | 0.72% | 0.72% | 0.68% | 0.72% | 0.73% |
| 当期の収益 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 |
| 当期の収益以外 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,003円 | 2,022円 | 2,040円 | 2,115円 | 2,128円 | 2,143円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、円建ての外国投資信託「ミズホ・ジャパン・リート・ファンド（円クラス）」受益証券の組入比率を、原則として高位に維持し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。また、「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券への投資も行います。

●ミズホ・ジャパン・リート・ファンド（円クラス）

Jリート市場は、短期的には現行水準でのみみ合いを想定します。超低金利環境や堅調なファンダメンタルズの継続が期待できるものの、政治経済情勢や投資家センチメントの動向、活発な公募増資による需給の悪化などには注視が必要と考えます。引き続き分散投資を基本に、保有資産の質や運用能力の調査・分析をもとに安定した分配原資獲得を考慮したポートフォリオの構築を目指します。具体的には、分配金の維持・向上が見込める銘柄などの投資ウェイトを引き上げる方針です。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。

この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債を中心に投資する方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第102期～第107期 (2019年6月19日 ～2019年12月18日) | | 項目の概要 |
|---------------------|---|------------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| | (a) 信託報酬 | 38円 | |
| (投信会社) | (7) | (0.081) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (30) | (0.326) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (1) | (0.016) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 38 | 0.425 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

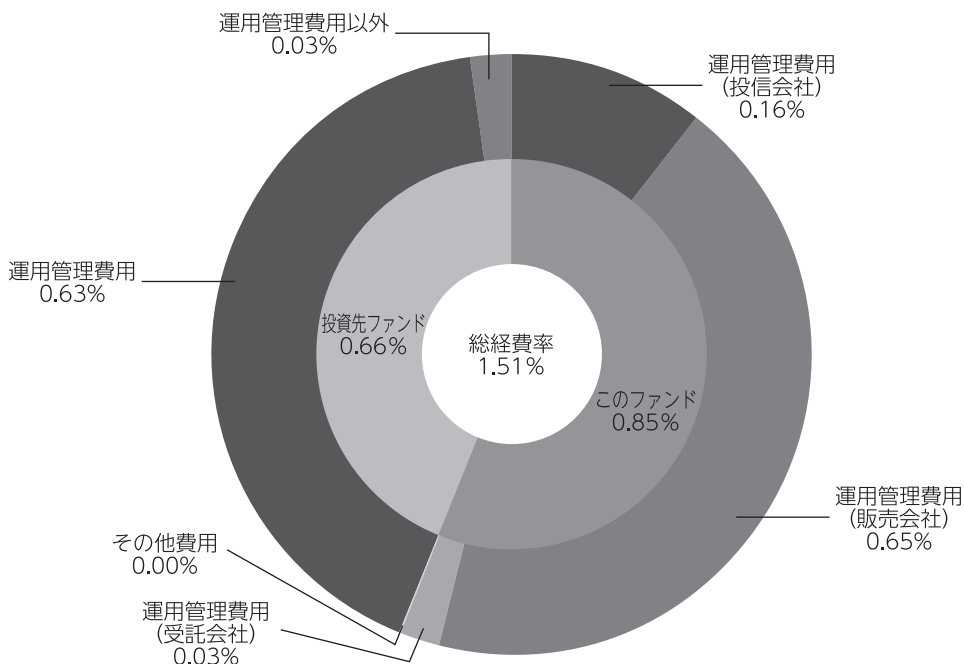
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (①+②+③) | 1.51% |
| ①このファンドの費用の比率 | 0.85% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.63% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.03% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉徴収税を含みません。

(注8) ②の費用は、ミズホ・ジャパン・リート・ファンドのサブファンド（米ドルコース、豪ドルコースおよびブラジルリアルコース）の為替管理報酬を含みます。

(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2019年6月19日から2019年12月18日まで)

投資信託受益証券

| | | 第 102 期 ~ 第 107 期 | | | |
|------------------------------|--------------------|-------------------|----------------------|------------------|-----|
| | | 買 付 | | 売 付 | |
| | | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| 外国 邦貨 建 | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 | |
| ミズホ・ジャパン・リート・ ファンド (円クラス) | 384,608.503 (-) | 598,500 (-) | 1,370,292.837 (-) | 2,116,200 (-) | |

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2019年6月19日から2019年12月18日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| フ ァ ン ド 名 | 第17作成期末 | | | | 第 18 作 成 期 末 | |
|--------------------------|---------------|---------------|-----------|------|--------------|-----|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 | 評 価 額 | 比 率 |
| 千口 | 千円 | 千口 | 千円 | 千円 | % | |
| ミズホ・ジャパン・リート・ファンド (円クラス) | 6,231,009.518 | 5,245,325.184 | 7,947,192 | 98.8 | | |
| 合 計 | 6,231,009.518 | 5,245,325.184 | 7,947,192 | 98.8 | | |

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

| | 第17作成期末 | | 第 18 作 成 期 末 | |
|-------------------|---------|-------|--------------|-------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 評 価 額 |
| 千口 | 千円 | 千口 | 千円 | |
| MHAM短期金融資産マザーファンド | 3,534 | 3,534 | 3,615 | |

■投資信託財産の構成

2019年12月18日現在

| 項 目 | 第 18 作 成 期 末 | |
|-----------------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投 資 信 託 受 益 証 券 | 千円 7,947,192 | % 97.8 |
| M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド | 3,615 | 0.0 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 175,647 | 2.2 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 8,126,455 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月18日)、 (2019年8月19日)、 (2019年9月18日)、 (2019年10月18日)、 (2019年11月18日)、 (2019年12月18日)現在

| 項 目 | 第102期末 | 第103期末 | 第104期末 | 第105期末 | 第106期末 | 第107期末 |
|----------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) 資 産 | 9,492,295,620円 | 9,267,648,435円 | 8,963,845,490円 | 9,010,091,790円 | 8,505,951,991円 | 8,126,455,688円 |
| コール・ローン等 | 295,444,305 | 205,028,285 | 209,207,373 | 198,357,467 | 229,728,554 | 162,847,951 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 9,193,236,118 | 9,011,404,953 | 8,724,622,920 | 8,776,719,479 | 8,247,508,240 | 7,947,192,186 |
| MHAM短期金融資産 マザーファンド(評価額) | 3,615,197 | 3,615,197 | 3,615,197 | 3,614,844 | 3,615,197 | 3,615,551 |
| 未 収 入 金 | - | 47,600,000 | 26,400,000 | 31,400,000 | 25,100,000 | 12,800,000 |
| (B) 負 債 | 200,265,696 | 149,368,793 | 143,808,413 | 136,975,139 | 166,289,067 | 82,001,825 |
| 未払収益分配金 | 68,743,847 | 66,270,223 | 63,538,622 | 61,136,602 | 60,087,088 | 59,065,299 |
| 未払解約金 | 125,119,971 | 76,341,579 | 74,049,717 | 69,602,997 | 99,818,982 | 17,022,053 |
| 未払信託報酬 | 6,377,917 | 6,731,994 | 6,196,977 | 6,212,852 | 6,359,770 | 5,892,958 |
| 未払利息 | 666 | 409 | 465 | - | - | - |
| その他未払費用 | 23,295 | 24,588 | 22,632 | 22,688 | 23,227 | 21,515 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 9,292,029,924 | 9,118,279,642 | 8,820,037,077 | 8,873,116,651 | 8,339,662,924 | 8,044,453,863 |
| 元 本 | 10,575,976,591 | 10,195,419,038 | 9,775,172,695 | 9,405,631,114 | 9,244,167,463 | 9,086,969,166 |
| 次期繰越損益金 | △1,283,946,667 | △1,077,139,396 | △955,135,618 | △532,514,463 | △904,504,539 | △1,042,515,303 |
| (D) 受益権総口数 | 10,575,976,591□ | 10,195,419,038□ | 9,775,172,695□ | 9,405,631,114□ | 9,244,167,463□ | 9,086,969,166□ |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 8,786円 | 8,944円 | 9,023円 | 9,434円 | 9,022円 | 8,853円 |

(注) 第101期末における元本額は10,884,437,991円、当作成期間(第102期~第107期)中における追加設定元本額は1,277,400,305円、同解約元本額は3,074,869,130円です。

■損益の状況

[自 2019年6月19日] [自 2019年7月19日] [自 2019年8月20日] [自 2019年9月19日] [自 2019年10月19日] [自 2019年11月19日]
 [至 2019年7月18日] [至 2019年8月19日] [至 2019年9月18日] [至 2019年10月18日] [至 2019年11月18日] [至 2019年12月18日]

| 項 目 | 第102期 | 第103期 | 第104期 | 第105期 | 第106期 | 第107期 |
|---------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 89,051,760円 | 87,050,852円 | 83,577,934円 | 80,088,946円 | 78,154,322円 | 77,869,967円 |
| 受 取 配 当 金 | 89,062,567 | 87,058,694 | 83,585,517 | 80,094,701 | 78,160,484 | 77,874,639 |
| 受 取 利 息 | 18 | - | - | 12 | 11 | 13 |
| 支 払 利 息 | △10,825 | △7,842 | △7,583 | △5,767 | △6,173 | △4,685 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 293,433,460 | 146,161,226 | 62,184,376 | 368,453,045 | △391,043,243 | △167,694,774 |
| 売 買 益 | 343,063,769 | 240,092,069 | 124,643,493 | 388,162,358 | 7,626,820 | 3,344,419 |
| 売 買 損 | △49,630,309 | △93,930,843 | △62,459,117 | △19,709,313 | △398,670,063 | △171,039,193 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △6,401,212 | △6,756,582 | △6,219,609 | △6,235,540 | △6,382,997 | △5,914,473 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | 376,084,008 | 226,455,496 | 139,542,701 | 442,306,451 | △319,271,918 | △95,739,280 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △774,636,573 | △444,082,492 | △267,369,688 | △180,262,575 | 191,684,198 | △181,900,534 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △816,650,255 | △793,242,177 | △763,770,009 | △733,421,737 | △716,829,731 | △705,810,190 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,001,009,877) | (1,931,300,229) | (1,854,765,284) | (1,788,490,306) | (1,764,519,575) | (1,738,103,829) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△2,817,660,132) | (△2,724,542,406) | (△2,618,535,293) | (△2,521,912,043) | (△2,481,349,306) | (△2,443,914,019) |
| (G) 合 計 (D + E + F) | △1,215,202,820 | △1,010,869,173 | △891,596,996 | △471,377,861 | △844,417,451 | △983,450,004 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △68,743,847 | △66,270,223 | △63,538,622 | △61,136,602 | △60,087,088 | △59,065,299 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G + H) | △1,283,946,667 | △1,077,139,396 | △955,135,618 | △532,514,463 | △904,504,539 | △1,042,515,303 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | △816,650,255 | △793,242,177 | △763,770,009 | △733,421,737 | △716,829,731 | △705,810,190 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,001,009,891) | (1,931,300,237) | (1,854,765,295) | (1,788,490,323) | (1,764,519,596) | (1,738,103,838) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△2,817,660,146) | (△2,724,542,414) | (△2,618,535,304) | (△2,521,912,060) | (△2,481,349,327) | (△2,443,914,028) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 118,184,362 | 130,574,726 | 139,448,713 | 200,907,274 | 203,371,241 | 210,006,884 |
| 繰 越 損 益 金 | △585,480,774 | △414,471,945 | △330,814,322 | - | △391,046,049 | △546,711,997 |

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

| 項 目 | 第102期 | 第103期 | 第104期 | 第105期 | 第106期 | 第107期 |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 87,564,327円 | 84,531,641円 | 80,014,232円 | 78,977,943円 | 71,774,131円 | 71,958,151円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 | 51,708,038 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 2,001,009,891 | 1,931,300,237 | 1,854,765,295 | 1,788,490,323 | 1,764,519,596 | 1,738,103,838 |
| (d) 分配準備積立金 | 99,363,882 | 112,313,308 | 122,973,103 | 131,357,895 | 191,684,198 | 197,114,032 |
| (e) 当期分配対象額(a + b + c + d) | 2,187,938,100 | 2,128,145,186 | 2,057,752,630 | 2,050,534,199 | 2,027,977,925 | 2,007,176,021 |
| (f) 1万口当たり当期分配対象額 | 2,068.77 | 2,087.34 | 2,105.07 | 2,180.11 | 2,193.79 | 2,208.85 |
| (g) 分配金 | 68,743,847 | 66,270,223 | 63,538,622 | 61,136,602 | 60,087,088 | 59,065,299 |
| (h) 1万口当たり分配金 | 65 | 65 | 65 | 65 | 65 | 65 |

■分配金のお知らせ

| 決算期 | 第102期 | 第103期 | 第104期 | 第105期 | 第106期 | 第107期 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1万口当たり分配金 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 | 65円 |

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

<ご参考>

組入れ投資信託証券の内容

(1) 投資信託証券の仕組み

| | |
|---------------|---|
| ファンド名(クラス) | ミズホ・ジャパン・リート・ファンド(円クラス) |
| 形態 | ケイマン籍円建て外国投資信託/オープン・エンド型 |
| 信託期間 | 原則として150年(早期に終了される場合があります。) |
| 運用目標 | 安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。 |
| 投資態度 | <p>① 主として、日本の金融商品取引所および金融商品取引所に準ずる市場に上場(上場予定を含みます。)している不動産投資信託証券に分散投資を行います。</p> <p>② 不動産投資信託証券への投資にあたっては、不動産市況および個別銘柄の調査・分析に基づいた銘柄選択を行うことにより付加価値を追求します。</p> <p>③ 日本の不動産投信指数先物取引等を行うことができます。</p> <p>④ 当初設定から間もないとき、大量の追加設定や換金が生じたとき、市場動向等に急激な変化が生じたまたは生じることが予想されるとき、償還の準備に入ったときおよび残存元本が運用に支障をきたす水準となったときその他のやむを得ない事情が発生したまたは発生が予想される場合には、上記のような運用ができない場合があります。</p> <p>⑤ みずほ信託銀行から提供される情報を、不動産投資信託証券への投資に活用します。</p> |
| 決算日 | 年1回(12月31日) |
| 収益分配 | 毎月、原則として利子収益、売買益(評価益を含みます。)等より分配を行うことを基本とし、運用会社と協議の上、受託会社の判断により分配額を決定します。ただし、分配水準を維持するために必要と認められる場合は、分配対象額の範囲をこれに限定しません。 |
| 主な投資制限 | <p>① 上場している投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>② 上場している投資信託証券以外の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>③ 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>④ 原則として信託財産の純資産総額の10%を超える資金借入は行いません。</p> <p>⑤ デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</p> |
| 費用等 | <p>運用管理費用等：純資産総額に対し、年0.54%程度 ※上記以外に費用が別途かかります。</p> <p>その他費用等：信託財産に関する租税/組入有価証券売買の際に発生する売買手数料/信託財産の監査に要する費用/法律関係の費用およびファンド設立にかかる費用/借入金の利息等 ※運用管理費用等には、年次による最低費用等が設定されているものがあります。</p> |
| 購入時手数料 | ありません。 |
| 受託会社/事務管理会社 | ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー |
| 運用会社 | アセットマネジメントOne株式会社 |
| 為替管理会社/資産保管会社 | ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー |

※ 当ファンドでは、計算期間終了後の財務諸表について独立した監査法人の監査を受けることを定めています。

(2) 包括損失計算書、(3) 償還可能受益証券保有者に帰属する純資産変動計算書、(4) 投資明細書は、各クラス（円クラス、米ドルクラス、豪ドルクラス、ブラジルレアルクラス）を合算した Mizuho・ジャパン・リート・ファンドの内容を掲載しています。

(2) 包括損失計算書

12月31日終了年度

(日本円で表示)

| | 2018年 ¥ |
|---|--------------------------------|
| 収益 | |
| 配当収入 | 4,704,166,075 |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の純実現（損失）／利益 | (12,775,325,571) |
| 外国通貨換算にかかる純実現損失 | (139,358) |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の評価益／（評価損）の純変動額 | 9,462,671,949 |
| 外国通貨換算の（評価損）の純変動額 | (725) |
| 純利益（損失）合計 | <u>1,391,372,370</u> |
| 費用 | |
| 源泉徴収税 | 712,821,742 |
| 投資運用報酬 | 559,658,966 |
| 外国為替管理報酬 | 89,862,876 |
| カスタディ報酬 | 72,370,388 |
| 取引費用 | 72,322,044 |
| 管理報酬 | 70,113,545 |
| 支払利息 | 24,107,088 |
| 担保管理報酬 | 7,871,322 |
| 受託会社報酬 | 6,288,305 |
| プロフェッショナル報酬 | 4,074,539 |
| その他費用 | 816,808 |
| 名義書換代理人報酬 | 553,010 |
| 弁護士等費用 | 41,758 |
| 費用合計 | <u>1,620,902,391</u> |
| 営業損失 | <u>(229,530,021)</u> |
| 金融費用 | |
| 償還可能受益証券保有者に対する分配金 | <u>(27,196,590,951)</u> |
| 償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の営業活動による減少額 | <u><u>(27,426,120,972)</u></u> |

(3) 償還可能受益証券保有者に帰属する純資産変動計算書

12月31日終了年度

(日本円で表示)

| | 2018年 ¥ |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 期首における償還可能受益証券保有者に帰属する純資産額 | 156,465,884,303 |
| 発行された受益証券： | |
| オーストラリアドルクラス受益証券 | 1,913,700,000 |
| ブラジルリアルクラス受益証券 | 24,459,000,000 |
| 日本円クラス受益証券 | 1,810,600,000 |
| 米ドルクラス受益証券 | 7,131,800,000 |
| 償還可能受益証券の発行代金 | <u>35,315,100,000</u> |
| 償還された受益証券： | |
| オーストラリアドルクラス受益証券 | (9,456,400,000) |
| ブラジルリアルクラス受益証券 | (40,875,200,000) |
| 日本円クラス受益証券 | (7,449,800,000) |
| 米ドルクラス受益証券 | (9,000,600,000) |
| 償還可能受益証券の償還額 | <u>(66,782,000,000)</u> |
| 受益証券保有者との取引による純（減少額）／増加額 | <u>(31,466,900,000)</u> |
| 償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の営業活動による減少額 | <u>(27,426,120,972)</u> |
| 期末における償還可能受益証券保有者に帰属する純資産額 | <u><u>97,572,863,331</u></u> |

(4) 投資明細書

2018年12月31日現在
(日本円で表示)

| 受益証券数 | 明細 | 平均原価 ¥ | 公正価値 ¥ | NAV合計に 占める割合 (%) |
|--------|--|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| | 損益を通じて公正価値で測定する金融資産 | | | |
| | 不動産投資信託 | | | |
| | 日本 | | | |
| 6,575 | Activia Properties Inc | 3,299,312,274 | 2,922,587,500 | 3.00 |
| 11,439 | Advance Residence Investment Corp | 3,302,613,283 | 3,460,297,500 | 3.55 |
| 10,144 | AEON REIT Investment Corp | 1,219,293,388 | 1,282,201,600 | 1.31 |
| 7,011 | Comforia Residential REIT Inc | 1,913,868,542 | 1,960,275,600 | 2.01 |
| 7,192 | Daiwa House REIT Investment Corp | 1,921,324,623 | 1,767,074,400 | 1.81 |
| 4,876 | Daiwa Office Investment Corp | 2,932,956,245 | 3,369,316,000 | 3.45 |
| 84 | Fukuoka REIT Corp | 14,316,491 | 13,994,400 | 0.01 |
| 12,074 | Global One Real Estate Investment Corp | 1,286,041,934 | 1,447,672,600 | 1.48 |
| 17,742 | GLP J-Reit | 2,141,973,217 | 1,985,329,800 | 2.03 |
| 4,667 | Hankyu Reit Inc | 653,705,903 | 667,381,000 | 0.68 |
| 1,275 | Health Care & Medical Investment Corp | 127,664,176 | 143,692,500 | 0.15 |
| 1,494 | Hoshino Resorts REIT Inc | 844,115,906 | 776,880,000 | 0.80 |
| 6,824 | Hulic Reit Inc | 1,144,422,114 | 1,162,809,600 | 1.19 |
| 18,553 | Ichigo Office REIT Investment | 1,467,338,587 | 1,795,930,400 | 1.84 |
| 11,963 | Industrial & Infrastructure Fund Investment Corp | 1,433,024,970 | 1,361,389,400 | 1.40 |
| 60,935 | Invesco Office J-Reit Inc | 975,321,403 | 934,742,900 | 0.96 |
| 48,669 | Invincible Investment Corp | 2,303,932,903 | 2,199,838,800 | 2.26 |
| 12,422 | Japan Excellent Inc | 1,737,738,089 | 1,842,182,600 | 1.89 |
| 31,862 | Japan Hotel REIT Investment Corp | 2,521,577,015 | 2,497,980,800 | 2.56 |
| 5,258 | Japan Logistics Fund Inc | 1,155,260,646 | 1,171,482,400 | 1.20 |
| 4,366 | Japan Prime Realty Investment Corp | 1,800,251,349 | 1,820,622,000 | 1.87 |
| 12,502 | Japan Real Estate Investment Corp | 7,325,221,474 | 7,701,232,000 | 7.89 |
| 22,205 | Japan Rental Housing Investments Inc | 1,907,148,379 | 1,823,030,500 | 1.87 |
| 21,403 | Japan Retail Fund Investment Corp | 4,523,141,510 | 4,697,958,500 | 4.81 |
| 4,917 | Kenedix Office Investment Corp | 3,216,234,897 | 3,441,900,000 | 3.53 |
| 11,304 | Kenedix Residential Investment Corp | 1,784,483,496 | 1,891,159,200 | 1.94 |
| 2,286 | Kenedix Retail REIT Corp | 567,328,566 | 569,214,000 | 0.59 |
| 7,811 | LaSalle Logiport REIT | 838,322,342 | 828,747,100 | 0.85 |
| 20,731 | MCUBS MidCity Investment Corp | 1,609,285,431 | 1,799,450,800 | 1.84 |
| 1,095 | Mitsubishi Estate Logistics REIT Investment Corp | 292,762,330 | 263,347,500 | 0.27 |
| 3,146 | Mitsui Fudosan Logistics Park Inc | 1,056,919,508 | 975,260,000 | 1.00 |
| 15,942 | Mori Hills REIT Investment Corp | 2,231,503,261 | 2,201,590,200 | 2.26 |
| 5,763 | Mori Trust Hotel Reit Inc | 858,541,777 | 736,511,400 | 0.75 |
| 1,741 | Mori Trust Sogo Reit Inc | 294,279,163 | 277,863,600 | 0.29 |
| 4,975 | Nippon Accommodations Fund Inc | 2,342,870,731 | 2,636,750,000 | 2.70 |
| 10,086 | Nippon Building Fund Inc | 6,134,659,751 | 6,969,426,000 | 7.14 |
| 7,960 | Nippon Prologis REIT Inc | 1,865,596,353 | 1,845,924,000 | 1.89 |
| 3,318 | NIPPON REIT Investment Corp | 1,218,719,885 | 1,207,752,000 | 1.24 |
| 22,501 | Nomura Real Estate Master Fund Inc | 3,612,814,412 | 3,249,144,400 | 3.33 |
| 30,505 | Orix JREIT Inc | 5,218,668,230 | 5,564,112,000 | 5.70 |
| 9,368 | Premier Investment Corp | 1,222,804,961 | 1,170,063,200 | 1.20 |
| 11,603 | Sekisui House Reit Inc | 835,210,699 | 814,530,600 | 0.83 |
| 3,282 | Star Asia Investment Corp | 345,687,493 | 344,610,000 | 0.35 |
| 6,832 | Tokyu REIT Inc | 1,037,214,648 | 1,124,547,200 | 1.16 |
| 12,335 | United Urban Investment Corp | 2,082,655,175 | 2,099,417,000 | 2.15 |
| 985 | XYMAX REIT Investment Corp | 108,634,990 | 108,350,000 | 0.11 |
| | 日本合計 | 86,726,762,520 | 88,925,573,000 | 91.14 |
| | 不動産投資信託合計 | 86,726,762,520 | 88,925,573,000 | 91.14 |

| | 評価益 ¥ | NAV合計に 占める割合 (%) |
|------------------------------------|------------------------|------------------------|
| デリバティブ資産 | | |
| 先渡外国通貨契約にかかる評価益 | | |
| オーストラリアドルクラス | 393,260,905 | 0.40 |
| ブラジルレアルクラス | 1,460,391,283 | 1.50 |
| 米ドルクラス | 375,005,197 | 0.38 |
| デリバティブ資産合計 | 2,228,657,385 | 2.28 |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融資産合計 | 91,154,230,385 | 93.42 |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融負債 | | |
| | 評価損 ¥ | NAV合計に 占める割合 (%) |
| デリバティブ負債 | | |
| 先渡外国通貨契約にかかる評価損 | | |
| オーストラリアドルクラス | (1,039,471,616) | (1.07) |
| ブラジルレアルクラス | (4,077,804,540) | (4.18) |
| 米ドルクラス | (931,509,880) | (0.95) |
| デリバティブ負債合計 | (6,048,786,036) | (6.20) |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融負債合計 | (6,048,786,036) | (6.20) |
| 損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の純額 | 85,105,444,349 | 87.22 |

－ 運用報告書（全体版） －

MHAM短期金融資産マザーファンド

第19期

決算日：2019年7月1日

(計算期間：2018年7月3日～2019年7月1日)

「MHAM短期金融資産マザーファンド」は、2019年7月1日に第19期決算を行いました。

ここに当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

■マザーファンドの仕組み

| | |
|--------|---|
| 信託期間 | 2000年7月28日から無期限です。 |
| 運用方針 | わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指します。 |
| 投資対象 | わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式および外貨建資産への投資は行いません。 |

最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク) | | 無担保コール 翌日物金利 | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 | 純資産 総額 |
|------------------|--------|--------|---------------------------|--------|-----------------|------------|------------|-----------|
| | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | % | 百万円 |
| 15期 (2015年6月30日) | 10,221 | 0.029 | 10,176.83 | 0.068 | 0.011 | 92.4 | - | 427 |
| 16期 (2016年6月30日) | 10,226 | 0.049 | 10,180.29 | 0.034 | △0.064 | 98.1 | - | 254 |
| 17期 (2017年6月30日) | 10,222 | △0.039 | 10,175.57 | △0.046 | △0.069 | 99.0 | - | 254 |
| 18期 (2018年7月2日) | 10,225 | 0.029 | 10,170.21 | △0.053 | △0.074 | 92.3 | - | 200 |
| 19期 (2019年7月1日) | 10,228 | 0.029 | 10,164.03 | △0.061 | △0.071 | 93.8 | - | 181 |

(注1) 基準価額は1万円当たり (以下同じ)。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

(注3) 無担保コール翌日物累積指数は2000年7月27日を10,000とし、無担保コール翌日物金利の収益を指数化したものです (小数第3位四捨五入) (以下同じ)。

(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率 (以下同じ)。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

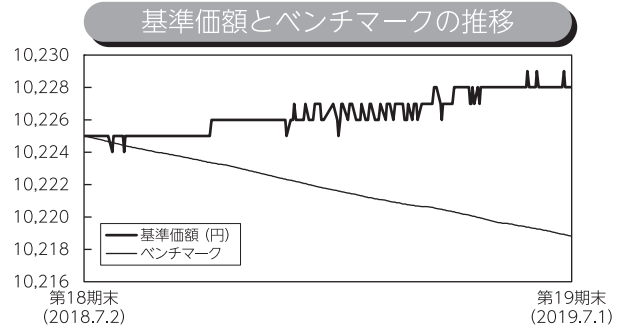
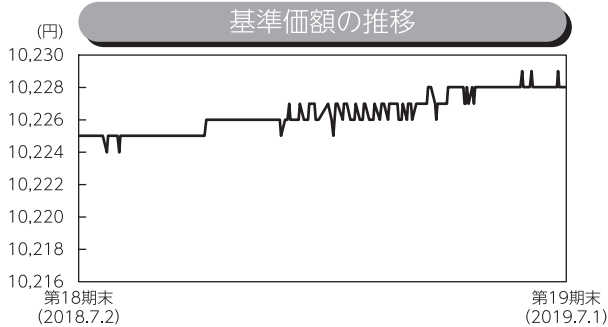
当期中の基準価額と市況推移

| | 基準価額 | | 無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク) | | 無担保コール 翌日物金利 | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 | |
|---------------|----------|--------|---------------------------|-----------|-----------------|------------|------------|---|
| | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | | | | |
| (期首)2018年7月2日 | 円 | % | | % | % | % | % | |
| | 10,225 | - | 10,170.21 | - | △0.074 | 92.3 | - | |
| 第 19 期 | 7月末 | 10,225 | 0.000 | 10,169.64 | △0.006 | △0.065 | 89.6 | - |
| | 8月末 | 10,225 | 0.000 | 10,169.13 | △0.011 | △0.055 | 89.5 | - |
| | 9月末 | 10,225 | 0.000 | 10,168.67 | △0.015 | △0.064 | 91.4 | - |
| | 10月末 | 10,226 | 0.010 | 10,168.13 | △0.020 | △0.068 | 91.3 | - |
| | 11月末 | 10,225 | 0.000 | 10,167.54 | △0.026 | △0.062 | 94.6 | - |
| | 12月末 | 10,226 | 0.010 | 10,167.01 | △0.031 | △0.055 | 85.6 | - |
| | 2019年1月末 | 10,227 | 0.020 | 10,166.42 | △0.037 | △0.060 | 93.4 | - |
| | 2月末 | 10,226 | 0.010 | 10,165.99 | △0.041 | △0.054 | 93.6 | - |
| | 3月末 | 10,227 | 0.020 | 10,165.64 | △0.045 | △0.060 | 91.6 | - |
| | 4月末 | 10,228 | 0.029 | 10,165.12 | △0.050 | △0.073 | 91.6 | - |
| | 5月末 | 10,228 | 0.029 | 10,164.58 | △0.055 | △0.059 | 89.1 | - |
| | 6月末 | 10,228 | 0.029 | 10,164.09 | △0.060 | △0.076 | 93.8 | - |
| (期末)2019年7月1日 | 10,228 | 0.029 | 10,164.03 | △0.061 | △0.071 | 93.8 | - | |

(注) 騰落率は対期首比。

当期中の運用経過 (2018年7月3日から2019年7月1日まで)

【基準価額等の推移】



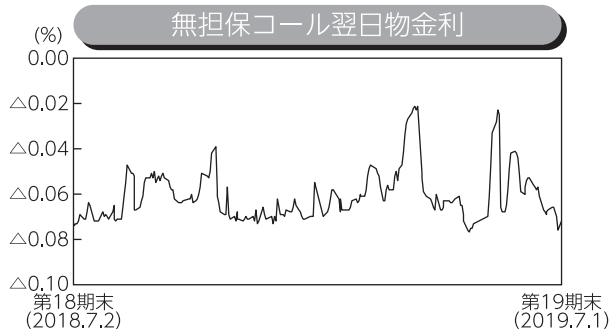
(注) ベンチマーク (無担保コール翌日物累積指数) は、期首の値を基準価額に合わせて指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

日本銀行の強力な金融緩和政策により、当マザーファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%の水準で推移する中、基準価額は概ね横ばいとなりました。

【投資環境】

● 短期金融資産市況



無担保コール翌日物金利は当期間中マイナスの水準で推移しました。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に $\Delta 0.1\%$ のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

【ポートフォリオ】

当マザーファンドは、わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指すファンドです。前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間1年程度までの公社債を中心に組み入れました。当期間中の債券の組入比率は90%程度を中心に推移させ、期末は94%程度としました。

上記運用を行った結果、基準価額は概ね横ばいとなりました。日本銀行の強力な金融緩和政策により、当ファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%の水準で推移したことが要因となります。

【組入上位5銘柄】

| 期首 | | | |
|----|------------------|------------|-------|
| 順位 | 銘柄名 | 償還日 | 比率 |
| 1 | 平成20年度第5回埼玉県公募公債 | 2018/11/27 | 10.4% |
| 2 | 第161回神奈川県公募公債 | 2019/3/20 | 10.1% |
| 3 | 第346回九州電力社債 | 2018/10/25 | 9.1% |
| 4 | 第16回国際協力機構債券 | 2018/12/26 | 8.9% |
| 5 | 平成20年度第3回千葉県公募公債 | 2018/7/25 | 8.5% |

| 期末 | | | |
|----|------------------------|------------|-------|
| 順位 | 銘柄名 | 償還日 | 比率 |
| 1 | 平成21年度第6回千葉県公募公債 | 2019/9/25 | 11.0% |
| 2 | 平成21年度第2回北九州市公募公債 | 2019/12/24 | 8.7% |
| 3 | 平成21年度第10回愛知県公募公債(10年) | 2019/10/30 | 7.8% |
| 4 | 平成21年度第1回福井県公募公債 | 2019/12/25 | 7.7% |
| 5 | 第42回川崎市公募公債(5年) | 2019/12/20 | 7.4% |

(注) 比率は、「MHAM短期金融資産マザーファンド」の純資産総額に対する投資割合。

【ベンチマークとの差異】

基準価額の騰落率はベンチマークを0.09%上回りました。当期間中、日本銀行の強力な金融緩和政策により、ベンチマークである無担保コール翌日物金利がマイナスの水準で推移した一方、相対的に利回り水準に魅力のある地方債などに投資したことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

<市況の見通し>

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。

<今後の運用方針>

この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債を中心に投資する方針です。

1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

期中の売買及び取引の状況 (2018年7月3日から2019年7月1日まで)

公社債

| | 買付額 | 売付額 |
|----------------|---------|-----------|
| 国内 | 千円 | 千円 |
| 地方債証券 | 163,130 | (159,560) |
| 特殊債証券 | 20,019 | (17,700) |
| 社債券(投資法人債券を含む) | — | (18,000) |

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等 (2018年7月3日から2019年7月1日まで)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

組入資産の明細

2019年7月1日現在

国内（邦貨建）公社債

A 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | |
|------------|----------------|----------------|-------------|-----------------|-----------|----------|-------------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格 以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 地 方 債 証 券 | 149,950 | 150,658 | 82.8 | — | — | — | 82.8 |
| 金 融 債 券 | 20,000 | 20,021 | 11.0 | — | — | — | 11.0 |
| 合 計 | 169,950 | 170,680 | 93.8 | — | — | — | 93.8 |

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(注3) ー印は組入れなし。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

B 個別銘柄開示

| 銘 柄 | | 当 期 末 | | | |
|------------|--------------------------|-------|----------------|----------------|------------|
| | | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| | | % | 千円 | 千円 | |
| 地 方 債 証 券 | 平成21年度第5回 京都府公募公債 | 1.35 | 7,000 | 7,045 | 2019/12/24 |
| | 平成27年度第3回 京都府公募公債 | 0.157 | 5,000 | 5,007 | 2020/6/19 |
| | 平成21年度第10回 愛知県公募公債 (10年) | 1.38 | 14,200 | 14,264 | 2019/10/30 |
| | 平成21年度第6回 千葉県公募公債 | 1.41 | 20,000 | 20,066 | 2019/9/25 |
| | 平成21年度第3回 新潟県公募公債 | 1.47 | 8,780 | 8,864 | 2020/2/26 |
| | 平成21年度第3回 京都市公募公債 | 1.36 | 6,000 | 6,039 | 2019/12/24 |
| | 平成21年度第5回 京都市公募公債 | 1.45 | 12,350 | 12,466 | 2020/2/25 |
| | 平成26年度第3回 京都市公募公債 | 0.184 | 10,500 | 10,504 | 2019/9/26 |
| | 第41回 川崎市公募公債 (5年) | 0.163 | 10,390 | 10,393 | 2019/9/20 |
| | 第42回 川崎市公募公債 (5年) | 0.101 | 13,400 | 13,405 | 2019/12/20 |
| | 平成21年度第2回 北九州市公募公債 | 1.36 | 15,730 | 15,832 | 2019/12/24 |
| | 平成21年度第1回 福井県公募公債 | 1.34 | 14,000 | 14,090 | 2019/12/25 |
| | 平成21年度第1回 徳島県公募公債 | 1.55 | 12,600 | 12,680 | 2019/11/29 |
| 小 計 | | | 149,950 | 150,658 | |
| 金 融 債 券 | い第777号 農林債 | 0.25 | 10,000 | 10,016 | 2020/2/27 |
| | 第299回 信金中金債 (5年) | 0.2 | 10,000 | 10,005 | 2019/10/25 |
| 小 計 | | | 20,000 | 20,021 | |
| 合 計 | | | 169,950 | 170,680 | |

(注) 金額の単位未満は切捨て。

* 株式および新株予約権証券の保有はありません。

投資信託財産の構成

2019年7月1日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公 社 債 | 千円 170,680 | % 93.8 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 11,284 | 6.2 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 181,964 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2019年7月1日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------------|--------------|
| (A) 資 産 | 181,964,737円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 11,019,119 |
| 公 社 債 (評価額) | 170,680,689 |
| 未 収 利 息 | 242,160 |
| 前 払 費 用 | 22,769 |
| (B) 負 債 | 26 |
| 未 払 利 息 | 26 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 181,964,711 |
| 元 本 | 177,903,929 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 4,060,782 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 177,903,929口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 10,228円 |

| | |
|----------------------------|--------------|
| (注1) 当期末における1口当たり純資産額 | 1.0228円 |
| (注2) 期首元本額 | 195,686,853円 |
| 期中追加設定元本額 | 0円 |
| 期中一部解約元本額 | 17,782,924円 |
| (注3) 元本の内訳 | |
| MHAMライフ ナビゲーション 2050 | 9,801円 |
| MHAMライフ ナビゲーション 2040 | 2,450,020円 |
| MHAMライフ ナビゲーション 2030 | 5,586,045円 |
| MHAMライフ ナビゲーション 2020 | 5,880,048円 |
| MHAMライフ ナビゲーション インカム | 2,450,020円 |
| 米国ハイイールド債券ファンド 円コース | 7,903,715円 |
| 米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース | 8,152,319円 |
| 米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース | 39,661,041円 |
| 米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース | 19,627,804円 |
| 米国ハイイールド債券ファンド 南アフリカランドコース | 921,529円 |

| | |
|-----------------------------------|-------------|
| 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース | 3,534,263円 |
| 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 米ドルコース | 7,087,354円 |
| 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 豪ドルコース | 1,769,440円 |
| 通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルリアルコース | 4,971,163円 |
| みずほグローバルリートファンド 円コース | 765,287円 |
| みずほグローバルリートファンド 米ドルコース | 1,936,922円 |
| みずほグローバルリートファンド 豪ドルコース | 551,925円 |
| みずほグローバルリートファンド 資源国通貨コース | 685,606円 |
| 新興国ハイイールド債券ファンド Aコース (為替ヘッジあり) | 1,079,264円 |
| 新興国ハイイールド債券ファンド Bコース (為替ヘッジなし) | 489,908円 |
| 米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース (為替ヘッジあり) | 314,857円 |
| 米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース (為替ヘッジなし) | 7,777,756円 |
| インカムビルダー (毎月決算型) 限定為替ヘッジ | 2,247,024円 |
| インカムビルダー (毎月決算型) 為替ヘッジなし | 15,171,145円 |
| インカムビルダー (毎月決算型) 世界通貨分散コース | 16,955,021円 |
| インカムビルダー (年1回決算型) 限定為替ヘッジ | 1,383,912円 |
| インカムビルダー (年1回決算型) 為替ヘッジなし | 14,381,689円 |
| インカムビルダー (年1回決算型) 世界通貨分散コース | 4,159,051円 |

損益の状況 (2018年7月3日から2019年7月1日まで)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 1,968,747円 |
| 受 取 利 息 | 1,983,168 |
| 支 払 利 息 | △ 14,421 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △1,903,405 |
| 売 買 益 | 4,451 |
| 売 買 損 | △1,907,856 |
| (C) 当 期 損 益 金(A+B) | 65,342 |
| (D) 前 期 繰 越 損 益 金 | 4,396,516 |
| (E) 解 約 差 損 益 金 | △ 401,076 |
| (F) 計 (C+D+E) | 4,060,782 |
| 次 期 繰 越 損 益 金(F) | 4,060,782 |

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。